

令和4年8月 市長定例記者会見

令和4年8月1日(月)

午後1時30分 開始

【秘書広報課長補佐】 ただ今より令和4年8月市長定例記者会見を始めさせていただきますと思います。

会見の進行につきまして、最初に市長の挨拶、その後、事業発表をさせていただきます。事業発表に係る質疑応答の後に、フリーの質疑応答とさせていただきますのでよろしく願いいたします。

なお、質問の際は、挙手の上、所属名をお願いいたします。発言の際は、マイクのスイッチをお願いいたします。

終了は14時30分を予定しておりますので、ご協力をお願いいたします。

それでは、市長、よろしく申し上げます。

【市長】 では、8月定例記者会見です。よろしく願いいたします。

暑い夏ということで敦賀気比高校が福井大会優勝しまして、甲子園の出場を決めております。敦賀市民挙げて応援していきたいと思っております。8月6日から始まるということですので、抽選結果によって応援に行けたらと思っております。

それから、新型コロナウイルスにつきましては、県内で昨日も本日も1500人を超えるコロナ患者が出ております。昨日敦賀市では98人ということで、100人を超えそうなところまで来ております。どうしてもうつりやすいというところがありますので、しっかりと感染対策をして、うつさない、うつらないという行動を皆さんにしっかりと対策をしていただきたいと思っております。

それから、要望活動、先週、先々週と活動を行ってまいりました。先週の26日は全原協の要望活動に行きまわりました。その中で、萩生田経産大臣、山口環境大臣、それから高橋文科大臣政務官に要請活動を行いまして、被災地が望む復興像の実現ということと、原子力発電所の新增設、リプレースの必要性、それから現実的で力強いエネルギー政策、原子力政策を明確に示してほしいということをお聞きしましたので、これからは要望活動を続けていきたいと思っております。

それから、先月27日には、地域共生政策自治体連携機構というところの通常総会がありまして、11月17日と18日、敦賀市で地域共生社会推進全国サミットの開催をしますと宣言してまいりました。これから準備に入りたいと考えております。

それから今日、久しぶりにばしふいっくびいなすが出港する日でございます。東北二大祭り、今日から8月6日までの日程で出港するというので、やっと海のにぎわいも出てくるのかなと期待しているところです。

以上、最近の所感ですけれども、よろしく願いいたします。

【秘書広報課長補佐】 続きまして、事業発表をお願いいたします。

【市長】 事業発表につきましては、4項目ございます。よろしく申し上げます。

1つ目は、第2弾マンホールカードの配布開始でございます。

第2弾マンホールカードの配布を8月6日土曜日午前9時から人道の港敦賀ムゼウムで

開始します。このマンホールカードの蓋のデザインは、イラストレーターの松尾たいこさんに、人道の港敦賀ムゼウムと敦賀湾、天筒山、金ヶ崎緑地をモチーフに、豊かな自然と優しいまち敦賀をイメージして制作していただきました。パステルカラーを基調とした柔らかいタッチで、大変すてきなデザインでございますので、ぜひ市民の皆様や本市を訪れた観光客の皆様におかれましては、このマンホールカードをきっかけとしまして、一つは下水道に関心を持っていただき、さらには人道の港としての敦賀を知っていただきたいと考えております。

それから2つ目ですが、#つるがキャンペーン第6弾の実施ということでございます。

2024年春の北陸新幹線敦賀開業に向けました本市の認知度向上、観光誘客の促進及び市内経済の活性化を目的としまして、SNSを活用したキャンペーンを行います。6回目となる今回は、昨年度誘客キャッチコピーに決まりました「つるが、発見！」をテーマに撮影した写真や動画に「#つるが発見」をつけてインスタグラムへ投稿いただきます。また、期間中ツイッターでもキャンペーンを実施いたします。キャンペーンにご参加いただいた方の中から抽選で敦賀真鯛や敦賀ふぐなど、特産品をプレゼントいたします。SNSということで、インスタグラムとツイッターと2通りあるということによりよろしくお願いいたします。

3番目の項目ですけれども、令和4年度敦賀市職員採用候補者後期試験の実施についてでございます。

募集職種はいずれも短大、高校卒業程度の一般事務、土木技師、電気技師、建築技師です。募集人員はお手元の資料に記載のとおりです。受付期間は8月12日から26日まで。第1次試験は9月18日に敦賀市役所で行います。第2次試験は10月中旬、最終合格発表は10月下旬を予定しております。

最後ですけれども、同じく職員で医療職です。令和4年度敦賀市職員採用候補者後期試験（医療職）の実施についてでございます。

今回、募集する職種は薬剤師、臨床検査技師、医療ソーシャルワーカーです。受付期間は8月12日金曜日から8月26日金曜日まで。試験は9月18日日曜日に市立敦賀病院で行います。なお、2次試験を10月下旬に実施し、最終合格発表は11月7日月曜日を予定しております。それぞれの採用予定人数の詳細は配付資料をご覧くださいと思います。

発表項目は以上でございます。よろしくお願いいたします。

【秘書広報課長補佐】 それでは、ただいま発表いたしました項目につきまして質問をお受けしたいと思います。最初に、幹事社さんのほうからお願いいたします。

【記者】 マンホールカードについてなんですけれども、こちら、デザイン松尾たいこさんが手がけたということで、とてもすてきなデザインになっていると思うんです。そこでムゼウムであったり金ヶ崎緑地がデザインとされていますけれども、改めましてこのマンホールカードを通じて敦賀の魅力であったり、あとムゼウムについてどのように広まってほしいのか、その点お願いします。

【市長】 マンホールカード、これで第3弾になろうかと思っておりますけれども、松尾たいこさんという、図書カードの富士山を採用していただいているということと、2拠点生活ということで、東京と軽井沢と美浜町にも御縁があるということで、いろいろデザイをしていただいております。御縁があるということをつくっていただいて、並べたときに、敦

賀に行ってみようと思っただけのようなカードになったらということで採用させていただきました。独特の色使いの中で、カードに興味がある人が現地でしか手に入れることができませんので、敦賀まで来ていただいて、改めて敦賀のことを知っていただき、ファンになっていただくということにつながっていけばいいなと思っています。

【秘書広報課長補佐】 それでは、各社にお伺いいたします。発表項目につきまして質問ございましたら挙手のほうをお願いいたします。

【記者】 私もマンホールカードなんです。第2弾ということですが、第1弾の成果ですがどれくらい配っていたんですとか、あとは今回どれくらい用意されているのか教えていただきたいです。

【市長】 部長のほうから答えます。4000枚用意しています。

【水道部長】 第2弾ということで、その以前の第1弾につきましては、松灯台というデザインのものを平成29年12月に発行しているところでございます。その中で、約4年6か月ほど年月がたつてございますが、発行部数につきましては、7月末現在で約1万7000弱を発行しております。その中で月でいきますと約300枚ずつぐらいが敦賀鉄道資料館に受け取り場所がございまして、そこへ訪れて受け取られているといったような状況でございます。

そんな中で、今回第2弾として発行しておりますが、当然その金ヶ崎緑地また人道の港敦賀ムゼウム、赤レンガ倉庫等、今現在、金ヶ崎周辺についてはいろんな取り組みを行っている中で、今回その人道の港、優しい人柄、優しい敦賀といったようなところを今現在、北陸新幹線敦賀開業等も控える中でやっている中で、今回、マンホールデザイン蓋をまず今年3月に設置をしました。設置場所につきましては、氣比神宮前のお砂持ち広場の前と、市民文化センター前の歩道、そして敦賀ムゼウムといったところで、設置をする中で今回改めてマンホールカードをつくることとしております。

そういった中で、やはり第一の目的は先ほど申しましたように基本的には下水道と申しますと暗いイメージもありますが、そういう中でマンホールをしっかりと関心を持っていただくことを目的とし、さらに今回のデザインを基に観光振興にもつなげていけたらという思いで設置しております。大体どのぐらいを予定しているのかという細かいところまではないですけれども、現在の月300枚以上は取りに来ていただきたいと思っております。

以上でございます。

【市長】 ちょっと補足しますと、デザインマンホールとしては第3弾になるんです。さっき言った松灯台が1つで、その間に桜だけのマンホール、デザインマンホールがあります。デザインマンホールとしては今回のムゼウムが第3弾と。マンホールカードとしては第2弾ということでございます。誤解があるといけませんので。

【秘書広報課長補佐】 それでは、次第の3番目、フリーの質疑応答へと移りたいと思っております。これも幹事社さんのほうからお願いいたします。

【記者】 以前から進められている駅西地区の土地活用事業なんですけれども、改めまして議会でも説明あったかと思うんですが、現在のスケジュールを教えてくださいませんか。

【市長】 駅西のホテルとか飲食物販施設につきましては、8月30日に記念式典をやりまして、9月1日から供用開始ということで準備を進めています。

【記者】 ありがとうございます。供用開始まであと1か月となりまして、この場でも今

までもご説明されていたんですけども、今後、供用開始に当たって今のどういう施設でこんなふうになってほしいというような、所見をいただけますか。

【市長】 市民の皆さんにとってみれば普段使い、憩いの場として豊かな空間というか楽しい時間が過ごせる場所というのが一つ狙いとしてあります。もう一つは観光客の方たちが来ていただいて、そこでにぎわいを感じるという空間になったらいいなと思います。

具体的にという、例えば市民の皆さんでしたら今、オルパークなんかで勉強している子どもたちもいますし、子ども連れで遊べる場所も滞留できる場所もないという中で、図書館でもない本屋でもないという本屋ができますので、そこでコーヒーを飲みながら子どもさんたちと本を選んだり時間を過ごしたりできると、そういうふうになったらいいなと思っています。

あと、観光客の皆さんにとってみれば、駅前のホテルが幾つかできてきてにぎわいができてきたかと思うんですけども、その中で回遊する場所とかまた新幹線開業して駅を降りたときに、そこで最初は買わなくてもずっと回ってきて最後にお土産を買う場所とか親しまれる場所になっていただきたいと思っています。

【記者】 ありがとうございます。あと今市長おっしゃいましたけれども、今後の課題にもなるんじゃないかと思うんですが、回遊性ですね、いらっしゃる方が今度、町の中にどんなふうに行くかということになると思うんですが、その辺の対策、ちょっと今お考えかプランがあればお聞かせください。

【市長】 回遊性というか、私ども狙ってきたところがありまして、新幹線の駅というのは今度東口もできますから、東側で降りて二次交通に行ってしまうとどっか行ってしまうと。そうすると敦賀とは全く関係ないという形になるんじゃないかなという不安があります。それを解消するためにムービングウオークなど駅前の広場の開発をやっていますので、敦賀を目的地にして駅の西側に降りていただいてという動機づけとして施設を造ったということがあります。

もう一つは、本町の1、2丁目が4車線から2車線になって空間ができて、今ほこみち空間にもなりましたので、そこで土曜日にイベントとか勝手ににぎわいをつくっているという自然発生的なにぎわいができてきたと思いますので、そういうところも含めて西側に誘導していける回遊性ということをつくっていきたいと考えています。

【記者】 ありがとうございます。複合棟に関して、書店が主なものになると思うんですが、書店を核にするということの狙いというのは、もう一度、いろいろ今までもご説明あったんですけどもお願いできますか。

【市長】 そうですね、書店を核にしたわけではないんですけども、一番の問題点と感じていたのはやっぱり通学をする子どもたちが勉強する場所がないのかな、居場所がないのかなというのが少しありまして、当然、他市町に通学する子以外にもそういうところで勉強したいとか、いたいとかいうのがあるんだなというのを思いましたので、そういう居場所づくりがまずできないかなと。

もう一つは、子ども連れのお母さん方がゆっくりできる場所とか、子どもを預ける場所ができないかなという中で、今の本屋さんや子どもを預ける施設、そういうところを準備してきたという形になっております。

部長のほうで補足があったら言うと思いますが。

【都市整備部長】 市長が申し上げたところでございます。その未満児のベビーカーで赤ちゃんを連れのお母さんの居場所とか、オルパークで勉強している子どもたちの居場所とか、そういったところは当初、平成27年から白紙のところでは市民のワークショップや地元と駅周辺整備構想委員会等々で議論してきましたので、そういう市民のニーズと社会的な環境等を捉えてこういった本を中心としたまちづくりというものに至ったと、そう理解しているところでございます。

以上です。

【記者】 ありがとうございます。あとちょっと具体的な話なんですが、複合棟と飲食棟、それぞれ用意されている区画と現在埋まっている区画、もしくは埋まっていない区画どれぐらいあるのか教えていただけますか。

【市長】 現在、カフェ棟除いて低層棟と飲食棟で13区画ございまして、現在9区画契約済みというところで、残り4区画についても建物が建って形が見えてきてから非常に多くの飲食店等から問合せがあると伺っておりますので、9月1日に間に合うかどうかは微妙なところですが、全て契約できるのではないかと肌で感じているところでございます。

以上です。

【記者】 ありがとうございます。

【秘書広報課長補佐】 ほかに幹事社さん、よろしいでしょうか。

それでは、各社にお伺いいたします。ご質問がございましたら挙手のほうをお願いいたします。

【記者】 今幹事社さんのお話にもあったんですけども、改めて、新幹線開業前に敦賀市では最大の開発といってもいいぐらいだと思います。開業前までと開業後、それぞれに分けた形で期待感といいますか、課題含めて教えていただければと思います。

【市長】 開業前と開業後ですね。開業前、ちょっと早くできますから1年半ほど時間がありますので、その間ににぎわいづくりということは必要だと思いますが、開業後については今ほど申し上げたような形だと思います。開業前の1年半については敦賀の宿泊客の率というのは非常に高いというふう聞いておまして、新幹線開業する前からホテルは満室になるだろうということを聞いています。そういう意味では、その宿泊客の方たちのにぎわいというのは開業前から起きてくるんだと思っています。

さらに開業後となりますと、今度は東京から来る人たちだけではなくて、長野県とか金沢とかそういう人たちも来ますけれども、新幹線の敦賀駅を見に来る人も中京、阪神からたくさん来るというふう聞いています。ですから、そういう人たちが車で来て、車で帰っていくという人たちのことも含めて回遊性を検討していかなくちゃいけないと考えています。

【記者】 ありがとうございます。あともう1点だけよろしいですかね。本屋が核としたわけではないというお話だったんですけども、知育施設、知の拠点としてのそこに対する思いをもう一回だけお聞かせ願えますか。

【市長】 本屋だけに特化して魅力的なことを考えますと、とんがった本がたくさんあるということを聞いております。ですから、新幹線の開業とかそういうところじゃない部分を含めて、その本屋が珍しいので周りから来て見てくださると、そういう誘客を含めた可

能性のある本屋だというふうに感じています。

【記者】 ありがとうございます。

【記者】 私もちよっと似たような質問で恐縮なんですけれども、行動制限のない夏休みが始まって少したちますけれども、市長から見て敦賀市への観光客の訪問率ですとかにぎわいだとか、今現在のところはいかがでしょうか。

【市長】 すみません、先週と先々週ちょっと出張だったのであまり見れてないですが、この土日で見た感じだと、海のお客さんは暑過ぎてちょっと少ないのかなということを感じています。あとは先程言いましたように、ほこみち空間もありますので、いろんなことをしようという人たちが敦賀の市内に出てきてケータリングとか、運動公園なんかでも多世代型の広場ができましたので、そこにケータリング出てたりと。ですから、そういうにぎわいづくりについては前に進んでいるのかなと思っていますんで、観光客の方がたくさん来ているかどうかというのは少し私どもはデータ持たないんですが、意識的には前向いて盛り上がってきているんだと思います。

【記者】 分かりました。もう1点よろしいですか。別件なんですけれども、8月10日に美浜3号機の再稼働が見越されていて、先ほど全原協としても要望活動を行ってきたとおっしゃっていましたが、運転再開に対して、現状お考えがあれば教えていただきたいと思います。

【市長】 美浜の3号機につきましては、特重施設の日程が早まりましたので、この夏の電力消費に対して対応できるようになったのでよかったなと思っています。しっかりと安全運転をしていただきたいというふうに思っています。

【記者】 分かりました。

【秘書広報課長補佐】 ほかによろしいでしょうか。

[なし]

【秘書広報課長補佐】 それでは、これをもちまして市長定例記者会見を終わらせていただきます。

本日はありがとうございました。

午後1時58分 終了